

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-315924(P2005-315924A)
 【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-044
 【出願番号】特願2004-130751(P2004-130751)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)
F 2 1 V 8/00 (2006.01)
G 0 9 F 13/04 (2006.01)
 F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/13357
 F 2 1 V 8/00 6 0 1 A
 G 0 9 F 13/04 Z
 F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月9日(2007.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光束制御板の裏面側に複数の光源を配置し、この複数の光源からの光を前記光束制御板を介して前記光束制御板の前記裏面と反対側の出射面側から出射させる面光源装置において、

前記複数の光源のそれぞれに対応するように前記光束制御板の裏面側に位置し、前記光束制御板を透過する前記光源からの光を前記出射面に対して均等に分配して、前記光束制御板を透過する前記光源からの光の光束密度を前記出射面に対して均一化する光分配機能面と、

前記複数の光源のそれぞれに対応するように前記光束制御板の前記出射面側に位置し、前記光束制御板の前記出射面から出射する光の進行方向を出射面の法線方向に向かわせる光変角機能面と、

を備えたことを特徴とする面光源装置。

【請求項2】

前記光分配機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状に広がる複数の環状プリズム突起により形成され、

前記光変角機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状に広がる複数の環状プリズム突起により形成される、

ことを特徴とする請求項1に記載の面光源装置。

【請求項3】

前記請求項1又は2に記載の面光源装置と、この面光源装置からの出射光によって面状に照明される表示パネルと、を備えたことを特徴とする画像表示装置。

【請求項4】

裏面に対向するように配置された複数の光源からの光を裏面側から内部に入射させた後

、その入射した光を出射面から出射し、その出射光を被照明体に照射するようになってい
る光束制御板において、

前記複数の光源のそれぞれに対応するように、前記裏面側に光分配機能面を配置する一
方、前記出射面側に光変角機能面を配置し、

前記光分配機能面は、前記光源からの光を前記出射面に対して均等に分配して、前記光
源からの光の光束密度を前記出射面に対して均一化し、

前記光変角機能面は、前記出射面から出射する光の進行方向を前記出射面の法線方向に
向かわせる、

ことを特徴とする光束制御板。

【請求項 5】

前記光分配機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状
に広がる複数の環状プリズム突起により形成され、

前記光変角機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状
に広がる複数の環状プリズム突起により形成される、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の光束制御板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 の発明は、光束制御板の裏面側に複数の光源を配置し、この複数の光源からの光を前記光束制御板を介して前記光束制御板の前記裏面と反対側の出射面側から出射させる面光源装置に関するものである。そして、この発明の面光源装置は、前記複数の光源のそれぞれに対応するように前記光束制御板の裏面側に位置し、前記光束制御板を透過する前記光源からの光を前記出射面に対して均等に分配して、前記光束制御板を透過する光の光束密度を前記出射面に対して均一化する光分配機能面と、前記複数の光源のそれぞれに対応するように前記光束制御板の前記出射面側に位置し、前記光束制御板の前記出射面から出射する光の進行方向を出射面の法線方向に向かわせる光変角機能面と、を備えたことを特徴としている。

請求項 2 の発明は、前記請求項 1 の発明に係る面光源装置において、前記光分配機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状に広がる複数の環状プリズム突起により形成されている。また、前記光変角機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状に広がる複数の環状プリズム突起により形成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 3 の発明は、前記請求項 1 又は 2 の発明に係る面光源装置と、この面光源装置からの出射光によって面状に照明される表示パネルと、を備えたことを特徴とする画像表示装置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項4の発明は、裏面に対向するように配置された複数の光源からの光を裏面側から内部に入射させた後、その入射した光を出射面から出射し、その出射光を被照明体に照射するようになっている光束制御板に関するものである。この本発明の光束制御板は、前記複数の光源のそれぞれに対応するように、前記裏面側に光分配機能面を配置する一方、前記出射面側に光変角機能面を配置している。そして、前記光分配機能面は、前記光源からの光を前記出射面に対して均等に分配して、前記光源からの光の光束密度を前記出射面に対して均一化するようになっている。また、前記光変角機能面は、前記出射面から出射する光の進行方向を前記出射面の法線方向に向かわせるようになっている。

請求項5の発明は、前記請求項4の発明に係る光束制御部材において、前記光分配機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状に広がる複数の環状プリズム突起により形成されている。また、前記光変角機能面が、前記複数の光源のそれぞれに対応する光軸を中心として同心円状に広がる複数の環状プリズム突起により形成されている。